

ゼミ活動報告

「IRC 最終プレゼンイベントに参加してきました。」

川畑 勇紀

12月6日（金）に東京の金融ビレッジにて行われた「IRC 最終プレゼン」に参加してきました。IRCとはCFA協会が主催しているInstituteResearchChallengeのことで、CFA協会が指定した企業を、チーム一丸となって約3か月かけて分析する活動です。企業から与えられる情報はわずかで、定性分析から定量分析までをすべて自分たちで算定します。



8月6日のキックオフ・ミーティングから、10月25日の最終レポートの提出までの約3か月間を費やしてアナリストレポートを完成させます。宮川研究室は3年連続出場し

ています。今年は、川畑、神崎、清水、高橋の4人で参加しました。関東の大学を中心に全13校が出場して競い合うのですが、宮川研究室の過去の成績は、去年、一昨年ともに5位でした。今年は、とにかく先輩たちを超えてみせると意気込んで挑戦しました。また、4位以上のチームには、12月6日の最終プレゼン報告会において13チームの前で英語で発表する機会が与えられます。それを目標にみんなで必死に頑張りました。また、チームには各一人メンターと呼ばれる指導員がついてサポートをしてくれます。私たちのメンターさんとなった若原亮太さんは、25歳と若く本当にフランクに接していただきました。しかし、いざ活動するにあたっての指導となると本当に厳しく指導していただきました。

活動していく中で、初めての経験ばかりで、夏前にはExcelすら使ったことのなかった4人がこの活動を通して、Excelを使って計算をしたり、図表を作成してアナリストレポートを作り上げました。活動していた夏休みの間は、IRCだけをしていただけではなく、本ゼミで行っている企業分析と同時並行で進めていたため、朝にIRC、昼から企業分析というような毎日でした。また、夏休みの後半からはCORE論文も始まり、思い返してみたら非常にハードな夏休みを過ごしていました。10月25日の提出ぎりぎりまで作業をしていたので、提出の時は僕の家みんなが集まって徹夜で作業をしていました。そして朝にみんなで送信ボタンを押した時の喜びは今でも忘れられません。

実際の所、すべてが順調にいったわけではありませんでしたが、宮川先生や先輩方のおかげで完成できたと思っています。本当にありがとうございました。IRCは大変ではありませんが、非常に多くのことを学べる機会であると思います。また、この経験は学生の間にはかできない非常に意味のある貴重な時間だと思います。結果としては、6位に終わりましたが、素晴らしい経験をさせていただきました。



本稿は大阪市立大学商学部宮川研究室ゼミ生の活動報告を目的として本学学生が作成したものです。本稿に掲載される個人名や企業名はご本人のご協力を得て掲載許可をいただいています。ただし、内容については執筆者の主観的感想や主張が入っており、事実とは異なる場合があります。本稿の目的以外にご使用にならないようお願いいたします。